

㊦ 聴読解問題スクリプト

Track 6

1 番 先生が、快適な駅の条件について話しています。この先生が最後にする質問の答えはどれですか。

駅が、人々にとって快適な空間であるためには、基本的で必要不可欠なレベルから、そうであれば望ましいという付加的なレベルまで、4段階の条件があると考えられます。まず、第一条件は、駅としての基本条件で、安全であることです。事故が起きないことが第一です。次に、利用者の負担が軽いことです。移動距離だけでなく、エレベーターなどの移動設備にも配慮が必要です。第三条件は、居心地がいいことです。例えば、電車を待っている間も、快適に過ごせるような場所であることです。そして最後の条件は、建造物として、人々が駅を町の誇りや象徴だと思えるような付加価値があることです。

さて、最近改築されたある駅は、部分的に太陽光を取り入れ、植物を配置するなど、明るさや空間のデザインにこだわっています。しかしその一方で、駅の中の構造が複雑になり、乗り換えがしにくくなってしまいました。この駅は、どの条件に問題があると言えますか。

Track 10

5 番 先生が、自治体と住民との間で起こる対立について話しています。この先生の話によると、住民側が問題視しているのは、資料のどの項目ですか。

ごみ処理場の建設は地方自治体が行いますが、その際、自治体と、建設地周辺に住む住民との間で、しばしば対立が起こります。その主な要因として、経済的要因、環境・技術的要因、行政・制度的要因、心理的要因の四つが挙げられます。ある報告書によると、対立を起こすこれらの要因のうち、主な要因はどれかという点に関して、自治体側と住民側で、見解の相違があるようです。自治体側は、住民がもつ、健康への影響に対する不安や、心理的な不快感が主な要因だと考えています。一方住民側は、自治体が一方的に建設計画を進めてしまい、意思決定の過程に住民が参加できないことが問題だとしています。

6 番 先生が、動物学の授業で、動物の体温調節について話しています。この先生が最後にする質問の答えは、どれですか。

牛や犬、人間などは、気温が高いときには、体温が上がりすぎないように体の表面から熱を外に出し、気温が低いときには、逆に熱が外に出ないようにして、体温の調節をしています。

では、体の大きい動物と小さい動物の体温調節について考えてみましょう。体の形が同じであれば、体が大きいほど、体積あたりの表面積は小さくなります。例えば、おとなのゾウと子どものゾウを比べた場合、おとなのゾウのほうが体積は大きいですが、体積あたりの表面積は小さいのです。体温の調節をする場合、体積あたりの表面積が小さいほど体から熱を放出しにくいので、おとなのゾウは体温を下げるのには不利で、保温には有利と言えます。

ほかに、保温の役割を担っているものには、体の表面の毛があります。毛と毛の間にある空気の層が断熱材の役割を果たし、保温機能を助けています。短くなめらかな毛よりも、ほさほさの長い毛のほうが保温機能は高くなります。

では、資料にある実際の動物で考えてみましょう。寒い地域で体外への熱の放出を抑えるのに最も有利なのは、どれだと考えられますか。